

山口昌男略歴

於：藤沢市労働会館 2015.10.24 川村伸秀作成

- 1931年 (0歳) 8月20日 (18日) 北海道網走郡美幌町に生まれる
- 1955年 (24歳) 3月 東大文学部国史学科卒、4月 麻布学園で日本史を教える
- 1957年 (26歳) 都立大学大学院で社会人類学専攻、教授に岡正雄、馬淵東一、古野清人、西村朝日太郎、松平齊光などがいた (この年、コルネルウス・アウエハントに会う)
- 1960年 (29歳) 3月 都立大修士課程修了、修論「アフリカ王権研究序説」4月 博士課程に進む
国際基督教大学 (ICU) のウィリアム・ニューエルの非常勤助手となる
- 1963年 (32歳) 10月 アフリカ、イバダン大学社会学で講師を務めつつジュクン族を調査
- 1965年 (34歳) 10月 帰国、11月 東京外大外国語学部教師
- 1966年 (35歳) 同大アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研) アフリカ部門講師、11月 アフリカ、ナイジェリア調査 (67年、AA研助教授)
- 1968年 (37歳) 3月 帰国 (途中でパリに立ち寄る)、10月 埼玉大学で石田英一郎の代講として、半年間「人類学思想史」を講義 (このときの学生に小松和彦氏がいる)
- 1969年 (38歳) 2月 現代人の思想シリーズで『未開と文明』を編集、9月 エチオピア調査
- 1970年 (39歳) 3月 帰国、11月 ナンテール (パリ第10分校) 客員教授として「政治の象徴人類学」を半年間講義。
- 1971年 (40歳) 1月 『アフリカの神話的世界』、3月 『人類学的思考』、7月 『本の神話学』、9月 パリ高等研究院客員教授
- 1972年 (41歳) 1月 短期間のナイジェリア調査、5月 帰国
- 1973年 (42歳) 6月 AA研教授
- 1974年 (43歳) 7月 『歴史・祝祭・神話』、8月 東インドネシア調査 (ブル島、チモール島、フローレス島)
- 1975年 (44歳) 5月 『文化と両義性』、6月 『道化の民俗学』 『道化的世界』、10月 帰国
- 1977年 (44歳) 9月 メキシコ大学院大学客員教授、11月 『知の祝祭』
- 1978年 (45歳) 4月 『知の遠近法』、9月 帰国
- 1979年 (46歳) 3月 ペルー、リマ大学客員教授、7月 帰国、9月 フィラデルフィア、ペンシルヴェニア大学客員教授
- 1980年 (47歳) 3月 帰国、4月 『20世紀の知的冒険』、7月 『道化の宇宙』
- 1981年 (48歳) 8月 筑波大学で「見世物と民衆娯楽の人類学」を開催。
- 1983年 (50歳) 1月 カリブ海諸国調査、3月 帰国、6月 『文化の詩学 (1)』、7月 『文化の詩学 (2)』、11月 スリナムで調査
- 1984年 (51歳) 2月 帰国、4月 日本民族学会会長、12月 磯崎新、大江健三郎、大岡信、武満徹、中村雄二郎らと『季刊へるめす』創刊 *この年、国際記号学会副会長
- 1989年 (58歳) 4月 AA研所長、12月 『知の即興空間』
- 1991年 (60歳) 10月 テニス山口組の合宿で福島県昭和村の喰丸小学校と出会う
- 1992年 (61歳) 8月 喰丸小学校を使って喰丸文化再学習センターを開所
- 1994年 (63歳) 3月 AA研を定年退職、4月 静岡県立大学大学院国際関係学研究科教授
- 1995年 (64歳) 3月 『「挫折」の昭和史』、7月 『「敗者」の精神史』
- 1997年 (66歳) 4月 札幌大学文化学部部長
- 1999年 (68歳) 4月 札幌大学・札幌女子短期大学部学長 (~2003年3月)
- 2000年 (69歳) 2月 『敗者学のすすめ』
- 2001年 (70歳) 1月 『内田魯庵山脈——〈失われた日本人〉発掘』、9月 『山口昌男山脈』
- 2002年 (71歳) 7月 『山口昌男山脈 第1号』
- 2003年 (72歳) 5月 『山口昌男ラビリンス』
- 2008年 (77歳) 10月 『本の狩人——読書年代記』
- 2013年 (82歳) 3月 死去